

スローガン

「安心、安全、安定」を

モットーに

みんなの絆で支え合う

地域づくり

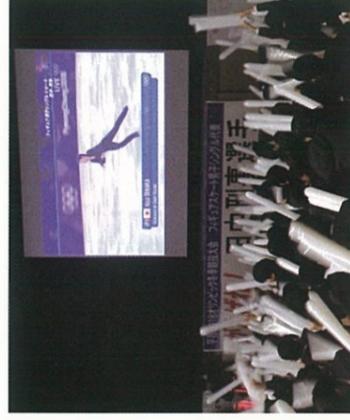
平成30年 3月 1日

第7号

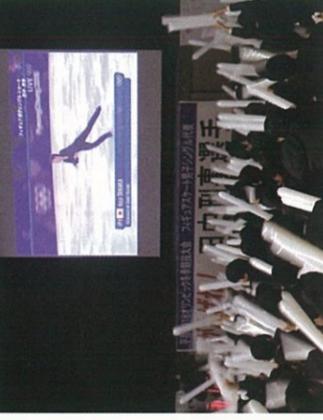
編集・発行
倉敷市神亀地区
社会福祉協議会

ふれあい神亀だより

六年生は他の行事があつて参加できませんでしたが、一年生・五年生の児童並びに伊東香織倉敷市長をはじめ、地域の議員の皆様、地域の皆様など、総勢五百名を超える



平昌冬期オリンピックのフィギュアスケート日本代表に、神亀小学校、連島中学校出身の田中刑事選手が出場しました。地元連島からは、高橋大輔さんに続き二人目のオリンピック誕生です。田中選手は、七歳から倉敷フィギュアスケートクラブで競技を始め、ヘルスピア倉敷のスケートリンクで練習を積み重ねてきました。田中選手の活躍を地域を挙げて応援するため、二月十六日・十七日に、連島神亀小学校体育館にてパブリックビューイングが開催されました。



田中刑事選手冬期オリンピック出場

神亀コミニティ協議会・神亀地区社会福祉協議会

会長 茶木 勝行

大声援で盛り上がりました。小学生にとっては、先輩がオリンピックに出場し、地域の皆様と一緒に応援できるという希有な体験ができました。以下に、児童の感想を幾つか挙げます。

〈感想〉

- ・田中選手が神亀小学校だと思つて嬉しかったです。
- ・学校の大きな画面で、みんなに応援できてよかったです。
- ・友達や地域の人と一緒に応援するのが楽しかったです。
- ・努力することは大切なんだと思いました。
- ・田中刑事選手の先輩として応援できたのが嬉しかったです。
- ・一緒に応援して神亀小学校の児童であることを嬉しく思いました。

小学生にとっては、パブリックビューイングという地域を挙げての行事を体験することで、地域社会(神亀学区)の一員であることの意識が高まり、自分の目標に向かって一生懸命に頑張ることは大切なことだという思いを強くすることが出来ました。お力添えをいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

私たちの声援が届き、田中選手は素晴らしい演技を披露することができました。と同時に、田中刑事選手からも、地元の皆様に勇気と感動を与えてもらえました。

このパブリックビューイングを通して、地域の絆をいっそう深めていきたいと思ひます。



第14回 神亀ふれあい夏祭り

日時 平成三十年七月十五日(日)
会場 連島神亀小学校運動場

いざいざ支援の会 矢野 良

第十四回神亀ふれあい夏祭りが今年も例年通り開催され、大勢の方々が楽しい時間を過ごされました。

十六時からオープニングを行い、子ども連による大亀のパフォーマンスで始まり、各ブースも合わせて開店しました。十八時からいざいざの会長挨拶に続き、各来賓の方々にも挨拶をいただき、その後神田三丁目有志の先導のもと三代での盆踊りに

より場を盛り上げてもらいました。また、今年もジャンケン大会(低学年・高学年・



中学生以上の三グループに分け)を行い、多くの子ども連や一般客の方々が舞台の廻りに集まってジャンケン大会を楽しみました。

各ブースは盛況で、みなさん交流を深めたり、子ども連も各ブースを巡り楽しんでいました。

最後は、カラオケ同好会による自慢の歌声で閉会となりました。今年も皆様のおかげで盛り上がった夏祭りになりました。皆様のご協力により成功裏に終わり大変感謝いたします。来年の夏祭りも皆様のご協力をよろしく願ひします。



ふれあいグラウンドゴルフ大会

日時 平成二十九年八月八日(火)
場所 連島神亀小学校グラウンド

第六回ふれあいグラウンドゴルフ大会は炎天下の中、約六十名の方々が参加され、グラウンドの熱戦が小学校グラウンドにて繰り広げられました。

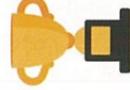
子どもから高齢者まで誰もが簡単に体を動かすことができるアミューズメントスポーツとして全国的に普及しています。今年はずいぶん参加はありませんでしたが、今年の優勝は昨年に続き川崎の香西信之さん二連覇とおめでとございます。

一位〜五位まで川崎の方々が入賞されました。これは

日々の練習と努力の結果が結びついたのかと思われま

す。他の地域(町内)の方々も次回は上位を目指して頑張ってください。

今後も夏休みの期間中の行事として計画中です。多数の子ども連の参加もお待ちしております。



- 優勝 (川崎) 香西信之さん(香西信之さん)
準優勝 (川崎) 大野修一さん(大野修一さん)
三位 (川崎) 若田進さん(若田進さん)



連島神亀小学校支援事業 ボランティア募集中

今年度も、地域の多くの方々にご支援をいただき、活動を進めることができました。ご協力いただきました皆様方に、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

本事業では、「朝のあいさつ運動」「登下校の見守り」「環境整備」「学習支援」等の活動を行っています。来年度も引き続き同様の活動を行っていただきたいと思ひます。ボランティアに協力していただければ、下記までご連絡ください。



ボランティアの登録は

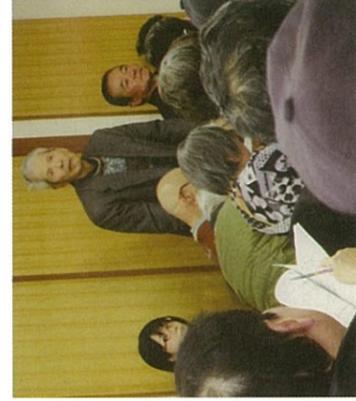
連島神亀小学校 教頭(阿村)まで
電話番号 448-6070
FAX 448-7584

福祉 出前講座開講

平成30年2月20日(火)
 日時 神亀ふれあい会館 勝行
 場所 神亀地区社会福祉協議会 茶木

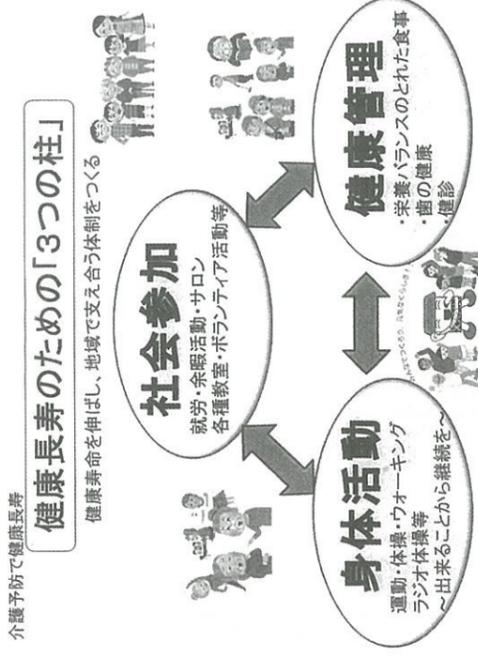
少子高齢化と言われている中神亀学区内においても六五歳以上の割合は約二十四%（二十七年半一夕）と高齢化がさらに進行すると思われる。

皆さん介護保険料は支払っているが制度の仕組みがよく理解されていない方もいるなかで健康で日常生活が送れることを願うも将来何かとお役にたてればと思い、今回は倉敷市出前講座「介護保険



制度について」介護保険課主任 高橋様、京野様の両講師による介護保険制度の仕組み等全般について講座を受けました。

介護保険制度の仕組み「介護保険」と「医療保険」の違いは？介護保険料はどのように決まる？要介護認定の申請と「共通の基準」「十六種類の特定疾病」サービスを利用するための決まりと在宅サービスと施設サービスの内容等について事細かく説明と皆さんからの質問等も受けて



有意義な講座を受けることができました。

最後に連島高齢者支援センター社会福祉士、青木さんから支援センターへの相談、役割についての説明と、簡単に体を動かすことによる脳トレにもよいといわれている体操を皆さんで楽しく行いました。



ふれあい 三世代会食会

平成29年8月2日(水)
 日時 神亀ふれあい会館
 場所 愛育委員より

今年も例年通り、学区の幼児クラブ（ひつじの会）、作業所大樹の方々と、子ども達合わせて六十数名で、そとめん流しを実施しました。

神亀ふれあい会館の前庭に、そとめん流しの竹を設置しました。竹をきれいに洗い、流れる水の準備もでき、後はそとめんを流すだけ。

「さあ、そとめんが茹であがりましたー！」

愛育委員がそとめんを流すと、子ども達は逃すまいと、歓声をあげながらも、箸先に集中していました。

次はミニトマトの番です。「私は赤のがいい」「僕は紫のがいい」と、いろんな色のトマトをすくひ上げました。

そして、大広間のテーブルの上には、おにぎりやフランクフルトも準備しました。みんな



三世代 どんど祭り

平成30年1月13日(土)
 日時 連島神亀小学校運動場
 場所 PTA 佐野 いづみ

今年は大寒波の到来で、とてもとても寒い朝でしたが、地域の皆様や神亀小学校の子ども達、PTAのお父さんお母さん方が集まってくれました。

「どんど焼き」は無病息災、五穀豊穡（おびよそくさい、ごごくほつじまつ）を祈る日本古来の伝統行事です。各家庭から持ち寄った正月飾りや



書初めに点火すると炎が勢いよく燃え上がりました。灰が空高く舞って行くのを見つめながら字が上達するように祈ります。

時折吹く強い風にも負けず、学校の先生方やPTAのお父さんがお餅をついてくれました。つきたてのお餅はもんだいやまなこ餅にして食べました。おなこ餅も好評で、出来上がるころには長い長い行列ができていました。

運動場では羽根つきやコマ回し、けん玉といった昔遊びのコーナーで子ども達が楽しく遊びました。子ども達の真

守りやおもちの整理をしてくださった役員のみねさん、ありがとうございました。

開催にあたり、前日よりたくさんのお供えに手伝っていただき、ありがとうございました。



宿場町やがげ「流しびな行列」とお姫さまの優雅な踊り

神亀地区社会福祉協議会 茶木勝行

「流しびな行列」の由来

矢掛町東三成に「あわしまさん」と呼ばれる小さなお社が祀られており、江戸時代から地元の女性達だけで密かに守りつがれてきました。

このことは、江戸時代の矢掛と淡嶋願人との深いかわりを示すものであります。淡嶋さまは、天照大神の六番目の姫君で十六歳の春に住吉明神の（きさき）となりましたが、婦人病にかかられ悲しくも空る船に乗せられ流されてしまいました。

そして、淡嶋に流れつき島人にいたわれて病も治り、その後は人形（ひとがた）を造って婦人病に苦しむ多くの人々を助けて淡嶋の女神と

して祀られました。

「矢掛の流しびな行列」はこの逸話にもとづいてストーリー化され、日本初の流しびな行列として注目されています。

亀島二十日に住居の馬場さんが「流しびな行列」写真コンテストに最優秀賞を受賞された作品の紹介です。受賞おめでとうございます。

